

ひろば・ちがさき

No. 813

2008年9月19日

市民会議・市民自治市議団
茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1
市役所内 0467(82)1111

市民会議・市民自治市議団

中嶋 てるお
TEL 86-5643
須田 ゆずる
TEL 86-8788
岸 正明
TEL 87-8766
小磯 妙子
TEL 52-6731
和田 清
TEL 67-5980

茅ヶ崎駅ホーム巾7.5m、拡幅を県鉄道輸送力増強推進会議に要望！茅ヶ崎駅東口設置、駅周辺のまちづくりと連携して検討

茅ヶ崎駅の東海道本線のホームが現在7.5mしかなく狭くて危険なため、拡幅するよう神奈川県鉄道輸送力増強推進会議を通じて要望していくことが分かりました。また、平塚駅や辻堂駅のように東口を新設することについては、駅周辺のまちづくりと連携し検討していくことが分かりました。いずれも、中嶋皓夫議員の行った一般質問に対する市長答弁で明らかになったものです。

★
質問と答弁は次の通り。
ホームの拡幅について

【中嶋】茅ヶ崎駅の乗降客、ざっと10万人と言われている。朝夕を中心に大変な混雑ぶりである。しかし、ホーム幅が7mと8mほどしかなく、乗降客が溢れかえって大変危険な状態だ。一日も早く拡幅して安全性を確保していただきたいが如何か。

【市長】茅ヶ崎駅の一日の乗降客は、平成19年度で約11万人であり、また一日の列車運行本数は、東海道本線、相模線、貨物線等615本である。東海道本線ホームは狭隘なため、ラッシュ時には乗降客で溢れ、平常時でも乗降客が交錯している状況で危険な状態となっていることは認識しているところだ。特にエスカレーターとエレベーターの間に乗降客が多く危険な状態であることはJR東日本も認識しているところであり、混雑の激しい時は駅職員をホームに配置し、安全確認を行っているところである。本市としても茅ヶ崎駅の東海道本線ホームは幅が7.5mとライナーホームの8.4m、相模線ホームの8mに比較して狭く、利用者への安全確保の点からもホームの拡幅等の早期整備をするよう要望しているところである。そのことについてJ

R東日本からは、限られた鉄道用地の中で、駅構内全体に係わる大規模な改良工事が必要となり、駅周辺の民間開発や自治体の周辺まちづくりと連携しつつ検討していくこと柄であると考えている、との回答があった。このような状況ではあるが、市民の安全にかかわる事柄であるため、駅施設の早期整備を神奈川県鉄道輸送力増強推進会議を通じて今後も継続して関係機関に要望を行って参りたいと思っている。

特にまちも高齢化が進んでいく。今までと駅を使われる方の置かれている状況も変わって来ると、どうしても参りたいことについて、JRにも申しかけたりと認識していただきながらこれまで以上に安全確保に向けて対応をしていただくように強く要望して参りたいと思う。抜本的にはホームの改良というところになるかと思うので、それらについて機会を見て話をさせていたいただきたいと思っている。

東口の開設について

【中嶋】茅ヶ崎駅利用者の利便性を高めるために、東口の設置はできないか。現在の駅の入口は心持ちだが西寄りとなっている。

とって大変便利だと思ふ。設置の必要性、実現の可能性如何か。

【市長】現在の茅ヶ崎駅は、昭和59年の橋上駅舎化によりほぼ中央に駅がある。駅東口に改札口ができることは、東部に居住する市民の皆様にとって利便性が向上すると考えるが、改札口開設に伴い、自動改札機、券売機、精算機、駅員の配置、さらには東海道線のホームやライナーホーム、相模線に渡るための陸橋も必要となり、大規模な改良工事となる。JR東日本としては、駅単独ではなく、駅周辺の民間開発構想や自治体の周辺まちづくりと連携して検討して行く事柄であるという考えである。本市として周辺のまちづくりに取り組める状況ではないので、現時点での茅ヶ崎駅東口の開設は難しいと考えられるのでご理解願いたい。※以上が質問答弁のやりとりです。どちらか実現しそうです。東口設置は利便性の向上ホーム拡幅は安全の確保です。危険なまま放っておくことは許されないと考えています。まずはホーム、優先的に今後引き続き要望して参ります。